

## 福祉系大学経営者協議会 令和 6 年度第 2 回総会 開催報告

令和 7 年 1 月 20 日(月)、福祉系大学経営者協議会 令和 6 年度第 2 回総会をハイブリッド（Zoom 及び日本福祉大学東京サテライト）で開催し、20 校 36 名にご出席いただきました。

冒頭、丸山会長より、大学を取り巻く学生募集の厳しい現状が共有され、私立大学の約 6 割、短期大学の約 9 割が定員割れに直面しており、少子化が急速に進行する中、高等教育の在り方について中教審が提示した答申案に基づき、各大学がどのように政策に反映させるかが重要であることが述べられました。また、少子化問題への対応として、福経協内で検討の場を設ける必要性が強調され、第 2 回福経協総会が開会しました。

### ■第 1 部 勉強会■

丸山会長の進行のもと、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格の今後について講演いただきました。こども家庭庁の半田氏からは、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格制度の概要と研修実施状況について説明いただき、日本福祉大学の河尻教授からは、同資格を取得することによる今後の期待について講演いただきました。その後、出席者との意見交換を行いました。

テーマ：「こども家庭ソーシャルワーカー認定資格の今後について」

講師：こども家庭庁 支援局 虐待防止対策課 半田 玲子 氏

日本福祉大学 福祉経営学部 教授 河尻 恵 氏

### ■第 2 部 総会■

令和 6 年度の活動状況について、5 つの委員会（総務・企画／研究活動・教育向上／学生募集戦略検討／大規模災害対応／就職）より報告がなされました。また、ルーテル学院大学が令和 6 年度末をもって本協会を退会する旨、承認がなされました。

### ■第 3 部 会員校の近況報告■

第 1 部の勉強会に関連し、こども家庭ソーシャルワーカー認定研修の取り組み状況や、学生募集の現状における取り組みの紹介等についてそれぞれの大学より報告が寄せられました。

最後に、長谷川副会長より、こども家庭ソーシャルワーカーに関連した議論や社会人リスキリングの重要性について触れ、各大学が現場の課題に対応し、社会人学生のニーズに応える取り組みを模索していく必要性が示された他、学生募集の取り組みにかかわり、大乘淑徳学園内における高等学校から大学への進学者減少を受け、高校と大学の連携強化を目的とした「高大接続委員会」を設置し、進学促進策を検討していく方針が示されたことについての紹介がなされました。さらに、各会員校が地道に努力を重ね、福経協がそれぞれの大学にとってかけがえのない組織となるよう尽力していきたいとの決意が述べられました。最後に、会員校への謝辞が述べられ、令和 6 年度第 2 回総会は閉会しました。